

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、コンサート開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合は、ホームページ上にてお知らせします。なお、コンサート実施に際しては以下の点について皆さまのご協力の程お願い申し上げます。

- 風邪などの症状、発熱等がある場合はご来場をお控えください。
- 会場内に設置する手指用の消毒液をご利用ください。
- 会場内ではマスク着用など感染症対策へのご協力をお願いします。

石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が1956年4月26日に久留米市に建設・寄贈した総合文化施設で、今年、開園65周年を迎えます。このコンサートは、これまで市民の皆様を支えていただいた感謝の気持ちを込めて開催するものです。「世の人々の楽しみと幸福の為に」。私たちはその思いを受け継いで、ここ久留米の地で、訪れる人の楽しみと幸福のある時間を創っています。

石橋文化センター開園記念ミュージアムコンサート ～ 和田剛治ピアノリサイタル ～

和田 剛治 (わだ よしはる) / ピアノ

福岡県久留米市出身。東京・福岡を拠点として活動を展開する。

桐朋学園短期大学部を首席卒業後、桐朋学園大学音楽学部演奏学科に編入学、卒業後は研究科を修める。戒重守、ジャン＝ポール・セヴィヤ、故山岡優子の各氏に師事。

フランスのノルマンディーピアノ講習会、フランス・アジャクシオ国際音楽学院のマスタークラス等、海外に於いても研鑽を積む。

第6回ブルガリア「音楽と地球」国際コンクール第1位入賞をはじめ、日本ザイラー国際ピアノコンクール第4位、第1回横浜国際ピアノコンクール特別賞、第1回九州国際バッハ音楽コンクールにてグランプリ及び音の森グループ賞等、数々の国内外のコンクールで受賞する。

2000年 桐朋学園在学中に石橋文化ホールでデビューソロリサイタルを行い、それ以降、数々のリサイタルに出演する。

2001年ブルガリアの首都ソフィアでの音楽祭「Arts for the Earth」にてリサイタル(フランス現代作曲家デュティユーのピアノソナタのブルガリア全楽章初演となりリサイタルの模様はラジオ局により録音・録音される)。横浜美術館クラシックライブにて3年連続リサイタル。2011年8月ブルガリア音楽家・舞踏家連盟の招聘によりブルガリア首都ソフィアにて広島・長崎原爆追悼式典に於けるピアノ献奏、並びにリサイタル、9月石橋文化ホールにてリサイタル、佐賀の浪漫座にて、作曲家に焦点を当てたサロンコンサートシリーズ「Salon de Compositeur」の企画・開催を行う。2012年7月フランスツアーにて2度のリサイタルとジョイントコンサート(ドビュッシー生誕150周年記念)。2013年 筑陽学園創立90周年式典でのリサイタル(福岡県太宰府市)、7月大阪にて現代作曲家デュティユーの追悼リサイタル。2015年久留米市ガス事業開始100周年・久留米ガス(株)

新社屋移転記念祝賀会での記念演奏。2016年6月 久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」のオープニングシリーズで橋 直貴指揮・コンセルエクラタンと共演、10月久留米室内管弦楽団 第46回定期演奏会(石橋文化ホール)にソリスト出演。2017年11月 在ブルガリア共和国日本大使館主催「第28回日本文化月間」に招かれてのリサイタル(ブルガリア・ソフィア)、12月 歴史民俗作家 堀江宏樹氏と解説付きの音楽会「松濤音楽会」(東京・渋谷)。2018年「偉大なる芸術家の思い出・没後10年 山岡優子先生を偲んで」出演(横浜市)、11月久留米市芸術奨励賞 受賞記念「ドビュッシー没後100年 オール・ドビュッシー・プログラム」リサイタル。2019年1月 久留米市新年賀詞交換会ピアノ演奏、5月久留米市美術館「坂本繁二郎展」のミュージアムコンサートの構成と演奏、11月久留米市美術館「ショパン・200年の肖像展」のイベントとしてオールショパンプログラムにてランチタイムコンサート(久留米市庁舎)等、各地にてソロ活動を行う。

またローランド・バーダー指揮、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と3度の共演をはじめ、黒岩英臣指揮・桐朋短大オーケストラ、横浜交響楽団等とのコンチェルトも活発に行う傍ら、クラリネット奏者タラス・デムチシンの共演をはじめ数々の室内楽の演奏会にも出演、九州国際バッハコンクール特別部門の審査員を務める等、活動は多岐に亘る。

古典から現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、特にフランス現代作曲家であるデュティユーのピアノソナタは、彼の妻であり初演者でもあるピアニストのジュヌヴィエーヴ・ジョワより高く評価されている。

一般社団法人九州音楽文化振興会理事、久留米連合文化会会員、平成30年度久留米市芸術奨励賞受賞者。

久留米市美術館 [本館2階] ※4月25日(日)は入館無料

デビュー50周年記念 萩尾望都 ポーの一族展 2021年 4月17日(土)～6月13日(日)

1969年のデビュー以来、日本のマンガ界を牽引してきた福岡県大牟田市出身の萩尾望都。本展では、代表作「ポーの一族」を中心に、「トーマの心臓」をはじめとする名作の数々と40年ぶりに再開された新シリーズも紹介し、半世紀におよぶ創作の軌跡をたどります。

開館時間: 10:00～17:00(入館は16:30まで)

バラのロンド
2019年(本展のための描き下ろし)
©萩尾望都/小学館

